

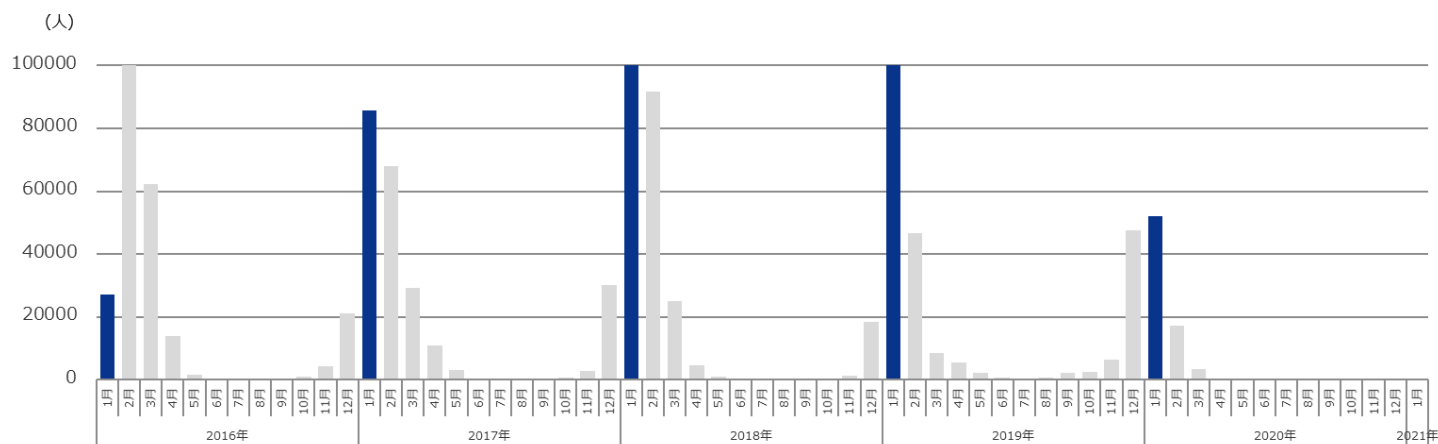
インフルエンザ患者数は前年同月比約 1000 分の 1 流行入りせず終了か？ ～JMIRI 処方情報データベースにおける調査より～

医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する「JMIRI 処方情報データベース」の 2021 年 1 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

1. インフルエンザ流行せず 患者数は例年の 1000 分の 1 以下

例年インフルエンザ患者数は 1 月に急増し 2 月にかけてピークを迎えますが、今年は現時点で患者数の増加は見られません。2021 年 1 月のインフルエンザ患者数は前年同月比で約 600 分の 1、2016 年～2020 年 1 月平均比で約 1000 分の 1 と大きく減少しました。1 月は 12 月と比較し患者数が減っており(12 月 141 人、1 月 87 人)、今シーズンはインフルエンザが流行することなく春を迎えるかもしれません。

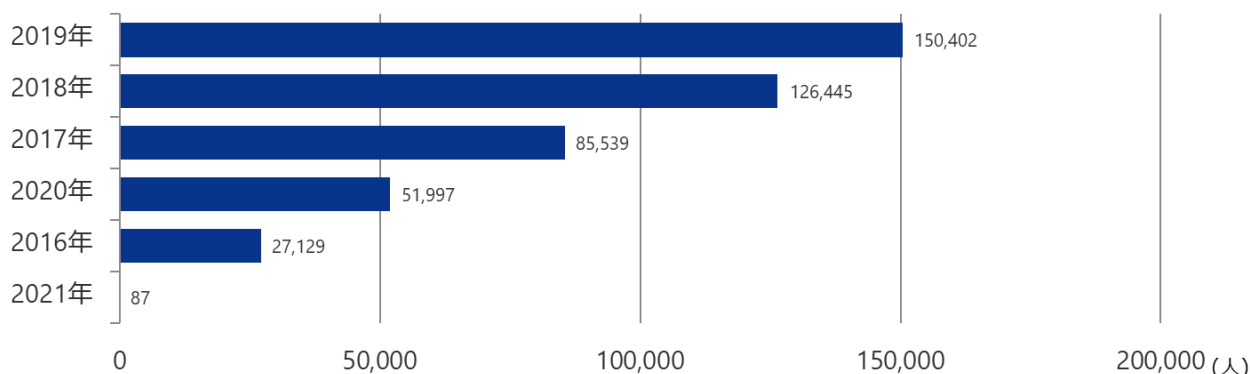
■インフルエンザ治療薬処方患者数推移



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

■ 1月のインフルエンザ治療薬処方患者数(2016年以降)



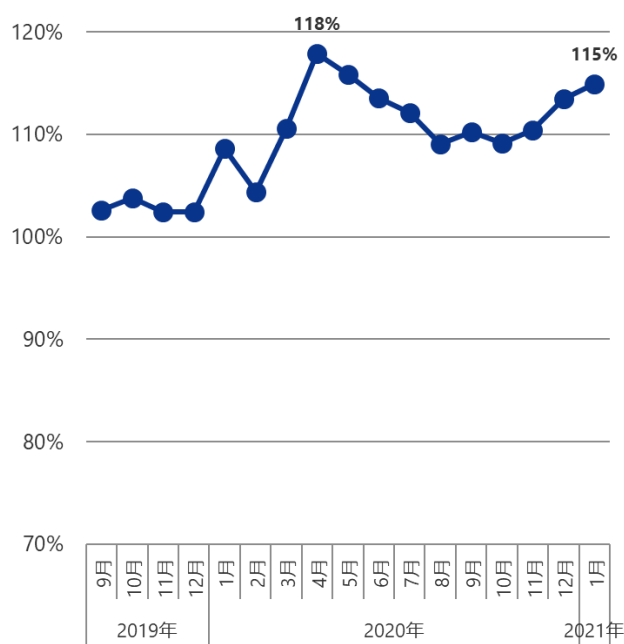
株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

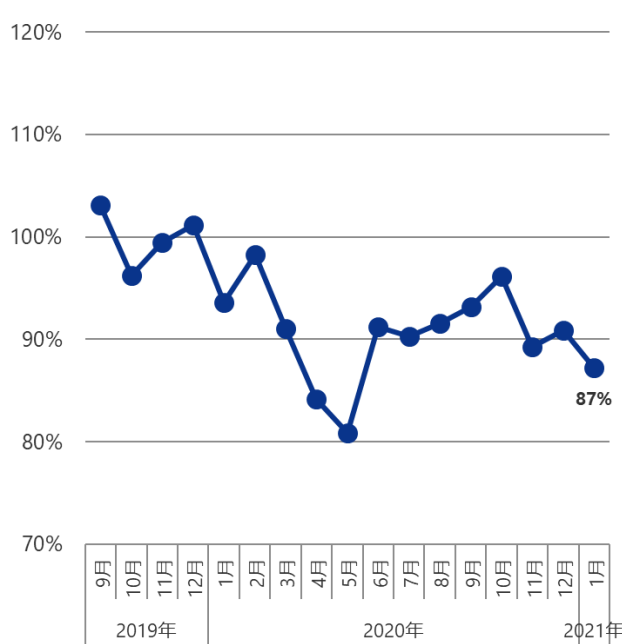
2. 患者数、処方日数共に緊急事態宣言の影響あり

1月の平均処方日数は前年同月比15%増(115%)、患者数は前年同月比13%減(87%)となりました。医療機関における一回あたりの平均処方日数は昨年の夏以降、前年同月比110%前後で推移しておりましたが、12月に増え始め1月は1回目の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」(以下 緊急事態宣言)とほぼ同等の前年同月比115%まで増加しています。1月に処方を受けた患者数は前年同月比87%となり、1回目の緊急事態宣言後、最も低い水準となりました。2回目の緊急事態宣言も1回目同様、受診行動に大きな影響を与えているようです。緊急事態宣言は3月まで延長されたため、今後もしばらくこの傾向が続くことが想定されます。

■ 一回あたりの平均処方日数の前年同月比



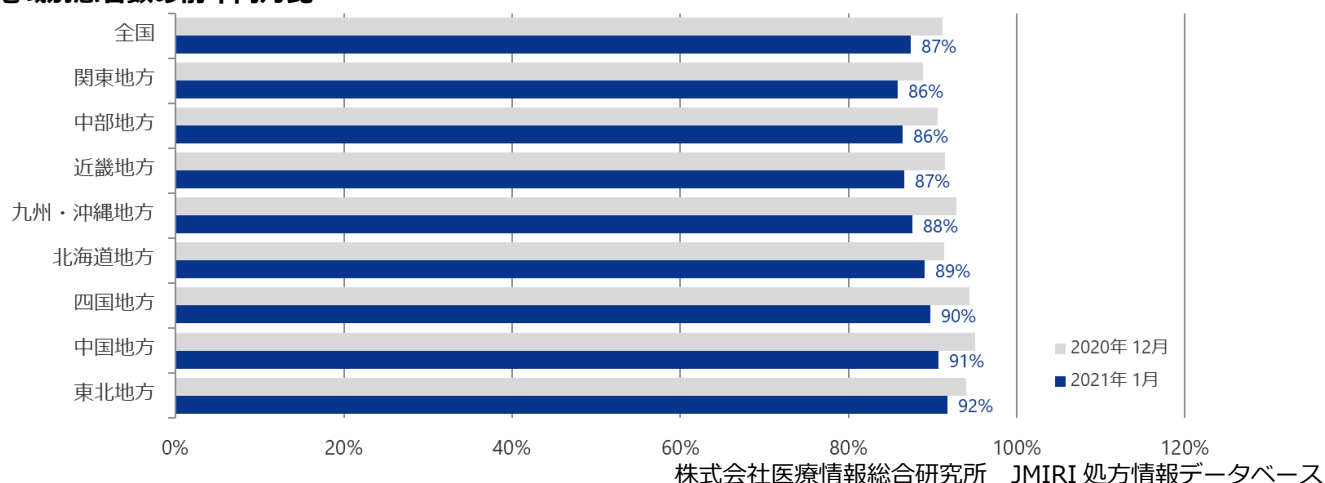
■ 患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

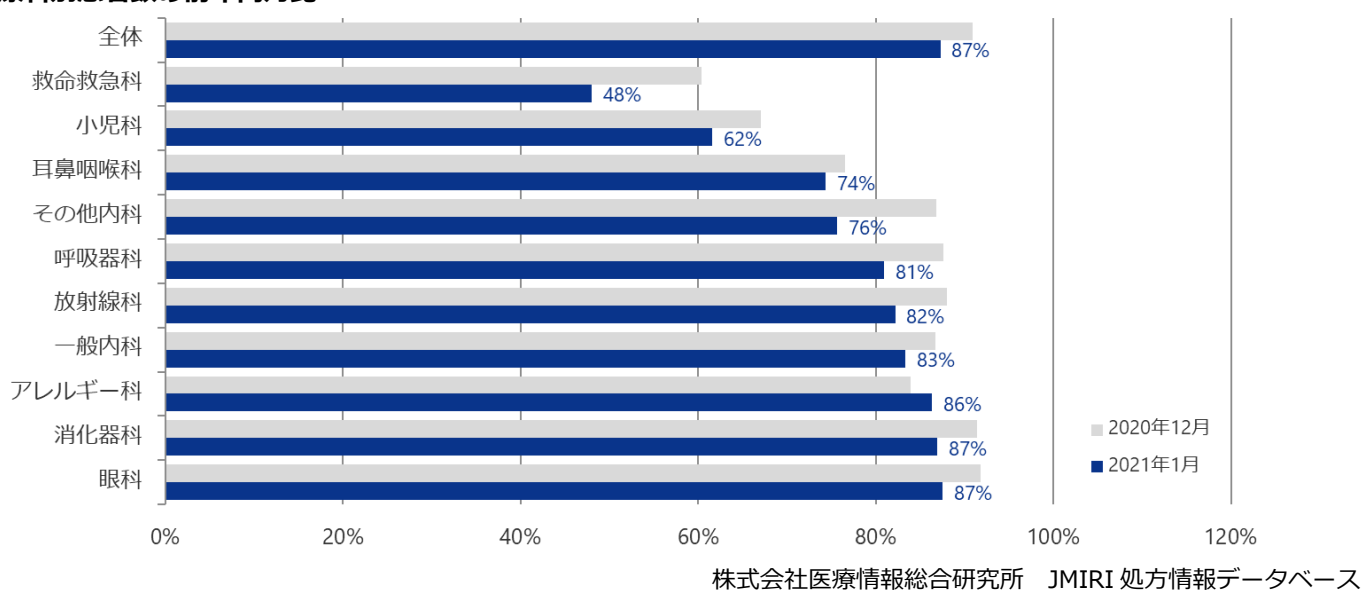
患者数の前年同月比を地域別に見ると、1月は全国的に減少傾向が見られました。緊急事態宣言の出ている地方だけでなく、その他の地方も同程度の減少幅であることが特徴です。

■地域別患者数の前年同月比



1月の患者数前年同月比を診療科別に見ると、12月と比較して減少する診療科が多い中、救命救急科の減少幅が目立っています(前年同月比12月60%、1月48%)。1回目の緊急事態宣言時にも救命救急科は患者数が大幅に減少しており(前年同月比4月65%、5月61%)、外出自粛などにより事故等の発生件数が減ったことの影響が考えられましたが、2回目の緊急事態宣言では外出自粛の傾向はそれほど強くありません。新型コロナウイルス感染者の急増により救命救急科の受け入れを制限せざるを得ない医療機関も多かったことが想定され、医療現場の逼迫具合を反映した結果かもしれません。

■診療科別患者数の前年同月比



JMIRIの全診療科(30種)より2021年1月の前年同月比が低い10診療科を抽出

1月8日に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、1月14日に栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県に発出された2回目の緊急事態宣言は、2月8日に栃木県が解除されたものの、その他の都府県は3月7日まで延長となりました。2回目の緊急事態宣言では1回目同様、処方日数の増加、患者数の減少が見られており、2月以降も動向を注視していく必要があると見られます。また、2月は花粉症患者が増加する時期ですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で国民の多くがマスクを着用しており、この影響がどれくらい出てくるのか注目ポイントです。

JMIRI は国内で初めて「処方箋データベース」の運用を開始し、15年間のデータを用いて迅速な解析データの提供を行っています。今後も日本全国の処方実態をいち早くお伝えしてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田

Eメール: cs@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社医療情報総合研究所 会社概要

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005年7月14日

資本金 : 1億8,825万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

当社は2005年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報(処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声)の収集、解析、および提供・販売を行っています。

2020年7月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業をJMIRIに集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>
